

## 防災訓練実施結果報告書の要旨

玄海原子力発電所における総合訓練（複数の訓練を組み合わせて行う訓練）

訓練実施日	平成28年12月1日																				
参加人数	513名（協力会社133名、他電力1名を含む）																				
想定した原子力災害の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～4号機で原子力災害対策特別措置法第15条事象に至る原子力災害を想定。</li> <li>・1, 2号機は、定期検査中（全燃料取出中）に全交流動力電源が喪失。</li> <li>・3, 4号機は、定格熱出力一定運転中に、地震発生により、原子炉が自動停止するとともに全交流動力電源が喪失し、原子炉の冷却機能が喪失。</li> <li>・その後、3号機は原子炉冷却材漏えい事象、4号機は、蒸気発生器への給水機能が喪失する事象が発生。</li> </ul>																				
訓練の内容	<p>以下の項目を「シナリオ非提示」にて実施</p> <table border="0"> <tr> <td><b>【発電所】</b></td> <td><b>【本店即応センター】</b></td> </tr> <tr> <td>(1) アシテナマネジメント(AM)訓練</td> <td>(1) 通報訓練</td> </tr> <tr> <td>(2) 緊急時対応訓練</td> <td>(2) 緊急事態支援組織対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(3) 通報訓練</td> <td>(3) 原子力防災要員等の動員訓練</td> </tr> <tr> <td>(4) モニタリング訓練</td> <td>(4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練</td> </tr> <tr> <td>(5) 避難誘導訓練</td> <td>(5) 発電所支援対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(6) 原子力災害医療訓練</td> <td>(6) プレス対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(7) 原子力防災要員等の動員訓練</td> <td>(7) 住民避難支援対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(8) 火災対応訓練</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(9) オフサイトセンター連携訓練</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【後方支援拠点】</b>  (1) 現地設営・運営訓練 (2) 発電所支援に係る本店との連携訓練</p>	<b>【発電所】</b>	<b>【本店即応センター】</b>	(1) アシテナマネジメント(AM)訓練	(1) 通報訓練	(2) 緊急時対応訓練	(2) 緊急事態支援組織対応訓練	(3) 通報訓練	(3) 原子力防災要員等の動員訓練	(4) モニタリング訓練	(4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練	(5) 避難誘導訓練	(5) 発電所支援対応訓練	(6) 原子力災害医療訓練	(6) プレス対応訓練	(7) 原子力防災要員等の動員訓練	(7) 住民避難支援対応訓練	(8) 火災対応訓練		(9) オフサイトセンター連携訓練	
<b>【発電所】</b>	<b>【本店即応センター】</b>																				
(1) アシテナマネジメント(AM)訓練	(1) 通報訓練																				
(2) 緊急時対応訓練	(2) 緊急事態支援組織対応訓練																				
(3) 通報訓練	(3) 原子力防災要員等の動員訓練																				
(4) モニタリング訓練	(4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練																				
(5) 避難誘導訓練	(5) 発電所支援対応訓練																				
(6) 原子力災害医療訓練	(6) プレス対応訓練																				
(7) 原子力防災要員等の動員訓練	(7) 住民避難支援対応訓練																				
(8) 火災対応訓練																					
(9) オフサイトセンター連携訓練																					
訓練の評価	<p>要素訓練及びシナリオ非提示型訓練を重ねるごとに課題が改善されており、緊急時対応能力が向上していることを確認</p> <p>発電所、本店、後方支援拠点及び各支社が連携し、原子力災害発生時に発電所及び本店の原子力防災組織があらかじめ定められた機能を有効に発揮できることを確認</p> <p>昨年度訓練の主な改善項目における状況は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ERC(国)とのプラント事象時系列情報の迅速な共有 ERCへ派遣する当社社員が、時系列情報を取り纏め、定期的にERCへ提出することにより、迅速な情報共有ができることを確認</li> <li>・シナリオスキップ時の的確な情報付与 シナリオスキップの際、コントローラが、その間のプラント挙動等について詳細な説明を行うことにより、訓練者が正確なプラント状況を把握した状態で、訓練再開できることを確認</li> <li>・訓練終了後の振り返り 振り返りにおいて、今回の訓練想定や事象を説明することにより、訓練関係者が事故シナリオを認識でき、改善点の抽出に有効な振り返りを行えることを確認</li> </ul>																				
今後に向けた改善点等	<p>より一層の充実を図る観点から、今後の訓練に反映する主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ERCへ派遣する当社社員が行う、ERCへの更なる情報提供の方法について検討する</li> <li>・本店即応センターにおけるブリーフィング音声によって、ERCとの会話が阻害されることを避けるため、ERCと情報共有する際のTV会議の運用について検討する</li> <li>・代替緊急時対策所内での情報共有のためのマイク追加配備等を検討する</li> </ul>																				

玄海原子力発電所における要素訓練（作業手順の習熟を図る個々の訓練）

・対象期間：平成27年7月17日～平成29年2月28日

項目	実施日	参加人数	訓練の概要	今後に向けた改善点
緊急時 対応訓練	平成27年 7月17日～ 平成28年 1月27日 <sup>1</sup>	101名	○発電所にて全交流動力電源が 喪失したことを想定し、対応 訓練を実施する	・今後も、訓練において状況 を確認し、更なる改善を 検討していく
	平成28年 7月26日～ 平成29年 2月14日 <sup>2</sup>	102名		
緊急事態 支援 組織 対応 訓練	平成28年 2月17日	5名	○原子力緊急事態支援組織への 支援要請、原子力緊急事態支 援組織保有遠隔操作ロボットの 受け取り及び操作の習熟を 図る	同 上
モニタ リング 訓練	平成28年 6月29日	16名	○緊急時モニタリング（放射性 物質濃度及び放射線量の 測定）に係る対応能力の向上 を図る	同 上
通報 訓練	平成28年 8月22日	53名	○通報連絡要否判断、通報連絡文 の確実な作成及び社内外関係先 への迅速かつ確実な通報連絡に 係る対応能力の向上を図る	同 上
避難 誘導 訓練	平成28年 10月25日	13名	○見学者来訪時に緊急事態が 発生したことを想定し、関係 者への連絡、避難誘導が迅速 にできることを確認する	同 上
原子力 災害 医療 訓練	平成28年 10月28日	19名	○管理区域内で負傷者が発生した ことを想定し、負傷者の搬出、 一次除染、汚染拡大防止措置、 応急処置等の訓練を行う	同 上
A M 訓練	平成28年 11月14日、 11月18日	61名	○アクシデントマネジメントを 踏まえた事象進展予測につい て、手順書を用いた事象進展 防止、影響緩和措置の判断、 選択訓練を行う	同 上

1：平成27年7月17,30日、9月8日、10月29日、11月13,26日、平成28年1月15,19,20,22,27日実施

2：平成28年7月26日、8月2日、9月8,12,14,21,29日、10月14,31日、平成29年2月14日実施

以上